



**ROCK PAINT**

031、075ライン

ビ  
オー  
**V.Oシリーズ**

室内環境対応型水性エマルジョン塗料

## VOCフリー・低臭の快適設計

居住中の住宅、レストラン、病院、老人ホーム  
学校、保育園、事務所の内装仕上げに最適

ホルムアルデヒド放散等級

**F☆☆☆☆**

居室内で無制限に使用できます



**ロックペイント株式会社**

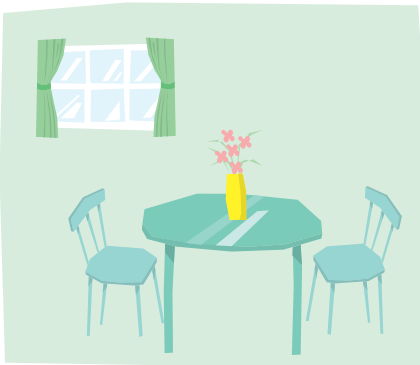
# V.O<sup>バイ・オー</sup>シリーズ

VOCフリー<sup>※</sup>で低臭の  
室内環境にやさしい  
水性内装用塗料

V.Oシリーズは、VOC（揮発性有機化合物）をほとんど含まない内装水性塗料です。一般の水性塗料は、溶剤型塗料と比較すると溶媒分が水のため、VOCが非常に少ないといえますが、凍結防止剤、造膜助剤などのVOC成分を含んでいます。V.Oシリーズは、これらVOC成分を配合せず、特殊架橋型エマルジョン樹脂を使用することにより、従来の仕上がり感を損なう事なく、落ち着いた室内空間が得られます。また原料に極力におい<sup>おい</sup>の少ないものを使用し低臭化を可能にしました。室内環境問題が大きく取りあげられている現在、VOCをほとんど含有せず、におい<sup>おい</sup>も少ないV.Oシリーズは、住環境にやさしい新世代の内装仕上げ材です。



## 特長



### VOCフリー<sup>※</sup>

VOC（揮発性有機化合物）の含有量が極めて0<sup>ゼロ</sup>に近い<sup>ゼロ</sup>ため、塗装中や塗装後においても、住環境にやさしい内装用塗料です。

〔※VOCフリー塗料とは、（一社）日本塗料工業会の見解で「意図的にVOCを配合していない塗料」のことを示します。〕

### 低臭設計

樹脂、顔料、添加剤は、におい<sup>おい</sup>の少ないものを使用し、極力低臭化をはかっています。

### 防カビ剤入り

浴室、台所などの湿度の高い場所に塗装しても、カビが生えにくくなっています。

### 作業性、仕上がり感、汚染除去性にすぐれる

タッチアップ性にすぐれ、塗りやすく、美しい仕上がり<sup>仕上がり</sup>が得られます。また、汚染除去性にすぐれ汚れを簡単に落とすことができます。

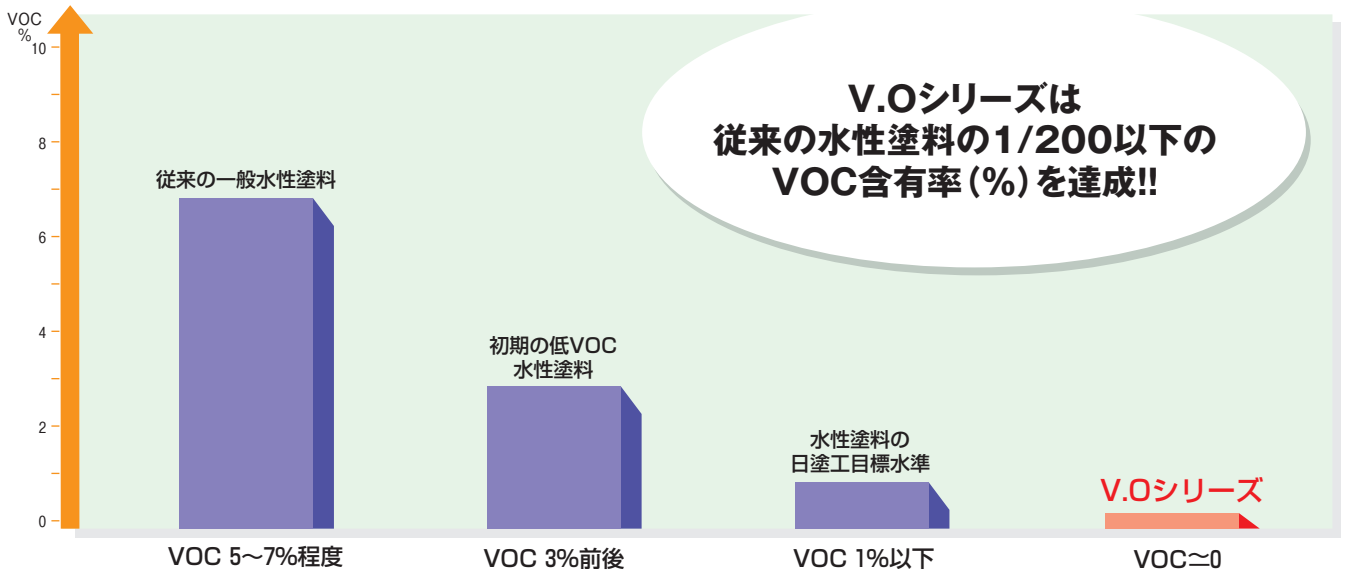
## 用途

病院、レストラン、学校、保育園、老人ホーム、店舗、事務所、居住中の住宅など特にクリーンな室内環境を要求される所。



## 室内環境面に対する性能

### ● VOCの含有率(%)比較 ●



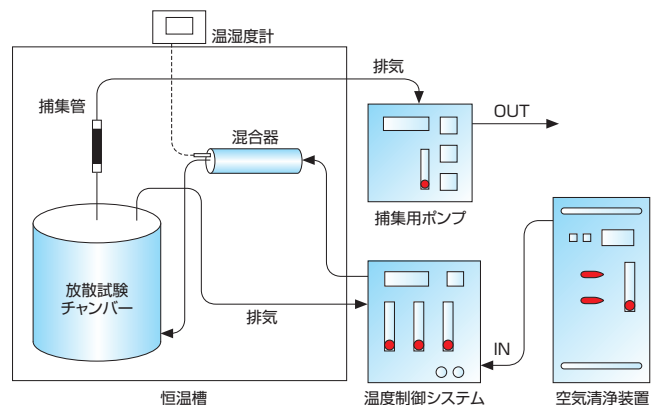
●測定方法は、ISO/DIS 17895「水系エマルジョン塗料中の揮発性有機化合物(VOC)の測定」による。

### ● 塗膜からのVOC放散量測定 ●

品名：ビニロックV.O-II	
測定日	塗膜からのTVOC放散速度 〔トルエン換算値 $\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$ 〕
1日後	定量下限値以下 (<1)
2日後	定量下限値以下 (<1)
3日後	定量下限値以下 (<1)

●試験方法はJIS A 1901に規定する小形チャンバー法により捕集、吸着された揮発性物質をガスクロマトグラフにより測定し、供試験片から発生した揮発性物質をトルエン換算値としてTVOCの放散速度とする。但し、測定日は塗装日から起算したものである。

### ● サンプルング装置(20L 小型チャンバー) ●



### ● におい比較試験 ●【ニオイセンサーによる測定データ】

サンプル	測定値		
	開封直後	30秒後	
水	21	17	
水系	ビニロックV.O-II	152	76
	ユニロックV.O-II	184	82
	市販水性ツヤ消し塗料	649	315
	市販水性ツヤ有り塗料	610	410
弱溶剤系	低臭弱溶剤型アクリル塗料	391	246
	弱溶剤型アクリル塗料	2000以上	1184
溶剤系	アクリル塗料	2000以上	1590

### ● 健康リスクに対する建築用エマルジョン塗料の目標基準<sup>※1</sup> ●

塗料設計条件	目標値	評価結果
	エマルジョン塗料	V.Oシリーズ <sup>※2</sup>
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系溶剤	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質	0.1%以下	適合
生殖毒性物質		
変異原生物質		
感作性物質	0.1%以下	適合

※1 (一社)日本塗料工業会の基準に基づく

※2 V.Oシリーズとは上塗りのビニロックV.O-II、ユニロックV.O-II各種ホワイト及び原色、下塗りのビニロックV.O-IIシーラー、水性サビ止めペイントV.O及びこれらで構成する下塗り+上塗りの塗装工程に該当します。

# ビニロックV.O-II

〔室内環境対応型合成樹脂エマルジョンペイント〕 F☆☆☆☆

ビニロックV.O-IIは、一液架橋型のアクリルエマルジョン樹脂をベースにしたツヤ消し塗料で、シリーズ共通の特長である低VOC、低臭性はもちろん、タッチアップ性にすぐれ、塗りやすく、美しい仕上がりが得られます。



031-0700  
ビニロックV.O-II ホワイト

## ● 製品要綱 ●

品番	031-0700	
品名	ビニロックV.O-II ホワイト	
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 隠ぺい性にすぐれています。</li> <li>● すかしづやが非常に小さく、下地のパテ跡が目立ちにくいので、新設時の塗装にも好適。</li> <li>● 塗装作業性にすぐれ、ムラのない美しい仕上がりが得られます。</li> <li>● きめが細かく汚染除去性にすぐれます。</li> <li>● 高架橋型特殊エマルジョン樹脂の採用で、特に低温時(5℃)での造膜性、保存性を一般水性塗料並みにすることに成功。</li> </ul>	
標準塗付量	0.11~0.13kg/m <sup>2</sup> ・回	
標準塗布面積	154~182m <sup>2</sup> /20kg・回	
希釈剤及び希釈割合(重量%)	ハケ、ローラー	5~15%の水
	エアレス	15~25%の水
標準塗装回数	2回	
指触乾燥時間(23℃)	約30分	
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上	

※標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。また乾燥時間は、室内の気温、湿度および換気によって変わります。

## ● 適応素地 ●

- 屋内コンクリート、モルタル、けい酸カルシウム板、せっこうボードなど  
※素地の種類、塗装部位により、下地処理、下塗塗料が必要です。
- 旧塗膜(水性塗料面)やビニルクロスの塗り替えとして。

## ● 塗装仕様 ●

〈屋内のコンクリート・モルタル・せっこうボードなど〉

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	新設のコンクリート、モルタル面は含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分乾燥させてください。塗り替えの場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、カビ、チョーキングなどは、サンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、清浄な面にしてください。ボードの目地はパテ処理を行ってください。大きな不陸、素穴などはエマルジョンパテで調整してください。					
下 塗	033-1701 ビニロックV.O-IIシーラー	水	ハケ、ローラー: 0~10	1	0.06~0.08	2時間以上
上 塗	031-0700ベース ビニロックV.O-II指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 15~25	2	0.11~0.13	2時間以上

●下塗りには他にロックカチオンシーラーマルチ ホワイトがあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法、天候などにより、多少異なります。吸い込みの大きい部材については標準塗付量より多くなります。

## ● 性能(031-0700) ●

項 目	品 質	結 果	
容 器 の 中 で の 状 態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格	
塗 装 作 業 性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合 格	
乾 燥 時 間	標準状態	2時間以内	合 格
	5℃	4時間以内	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格	
隠 ぺ い 率 %	93以上(白及び淡彩)	合 格	
耐 水 性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合 格	
耐 アル カ リ 性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合 格	
耐 洗 浄 性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合 格	
促 進 耐 候 性	240時間の試験で白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格	
屋 外 暴 露 耐 候 性	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格	

## ● ビニロックV.Oシリーズ製品一覧 ●

品 番	品 名	容 量
031-0700	ビニロックV.O-II ホワイト	20kg
031-9077	ビニロックV.O-II 調色品	20kg,3kg

●調色の際には、ロックトーンカララント7000(ベースの7%以内)を使用してください。

# ユニロックV.O-II

〔室内環境対応型つや有合成樹脂エマルジョンペイント〕  
 〔室内環境対応型合成樹脂エマルジョンペイント(5分艶・3分艶)〕  
 F☆☆☆☆

ユニロックV.O-IIは、低VOCで低臭のツヤ有り～3分ツヤ有りのエマルジョンペイントです。従来、合成樹脂調合ペイントが塗られていた内壁の木部廻り縁や鉄扉、ベランダ手摺りなどの準外部や台所などの水廻り部分の塗り替えに適しています。また、汚染性も一般の水性ツヤ有りペイントと比べ、汚れにくくなっています。



075-1700 ホワイト  
 075-1750 5分艶ホワイト  
 075-1730 3分艶ホワイト

## ● 製品要綱 ●

品番	075-1700
品名	ユニロックV.O-II ホワイト
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●V.Oシリーズの特長であるVOC成分がほぼ0、低臭化を実現、室内で安心して使用できます。</li> <li>●防カビ剤入りですので、カビが生えにくく、清潔な住環境を維持します。</li> <li>●表面が緻密で汚れが浸透しにくく、一般の水性ツヤ有り塗料に比べて、汚れにくくなっています。</li> <li>●高架橋型特殊エマルジョン樹脂の採用で、特に低温時(5℃)での硬化造膜性にすぐれています。</li> <li>●タッチアップ性にすぐれ、補修あとが目立ちにくくなっています。</li> <li>●隠ぺい性にすぐれ、塗りやすく、美しい仕上がりが得られます。</li> </ul>
標準塗付量	0.09~0.11kg/㎡・回
標準塗布面積	135~165㎡/15kg・回
希釈剤及び希釈割合(重量%)	ハケ、ローラー 5~15%の水 エアレス 15~25%の水
標準塗装回数	2回
指触乾燥時間(23℃)	約30分
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上

※標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。また乾燥時間は、室内の気温、湿度および換気によって変わります。

●他に075-1750 ユニロックV.O-II5分艶ホワイトと075-1730 ユニロックV.O-II3分艶ホワイトがありますので、部位・用途に応じた光沢を選択することができます。

## ● 適応素地 ●

- 屋内コンクリート、モルタル、けい酸カルシウム板、せっこうボードなど  
 ※素地の種類、塗装部位により、下地処理、下塗塗料が必要となります。
- 旧塗膜(水性塗料面)や鉄部(サビ止め必要)、壁面の木製廻り縁の塗り替えとして。

### ● 塗装仕様(屋内のコンクリート・モルタル・せっこうボードなど) ●

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	新設のコンクリート、モルタル面は含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分乾燥させてください。塗り替えの場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、カビ、チョーキングなどは、サンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、清浄な面にしてください。ボードの目地はパテ処理を行ってください。大きな不陸、素穴などはエマルジョンパテで調整してください。					
下 塗	033-1701 ビニロックV.O-IIシーラー	水	ハケ、ローラー : 0~10	1	0.06~0.08	2時間以上
上 塗	075-1700ベース ユニロックV.O-II指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 15~25	2	0.09~0.11	2時間以上

※●仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法、天候などにより、多少異なります。吸い込みの大きい部材については標準塗付量より多くなります。

### ● 性能(075-1700) ●

項 目	品 目 質	結 果	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格	
低温安定性(-5℃)	変質しないものとする。	合 格	
塗 装 作 業 性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。	合 格	
乾 燥 時 間	標準状態	2時間以内	合 格
	(5℃)	4時間以内	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格	
隠 ぺ い 率 %	95以上(白及び淡彩)	合 格	
鏡 面 光 沢 度 (60度)	70以上	合 格	
耐 水 性	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。	合 格	
耐 アルカリ性	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。	合 格	
耐 洗 浄 性	1000回の洗浄に耐えるものとする。	合 格	
耐 湿 潤 冷 熱 繰 返 し 性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。	合 格	
促 進 耐 候 性	480時間の試験で、光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格	
屋 外 暴 露 耐 候 性	12か月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格	

### ● ユニロックV.O-II製品一覧 ●

品 番	品 名	容 量
075-1700	ユニロックV.O-II ホワイト	15kg
075-1730	ユニロックV.O-II 3分艶ホワイト	15kg
075-1750	ユニロックV.O-II 5分艶ホワイト	15kg
075-9070	ユニロックV.O-II 調色品	15kg, 3kg
075-9030	ユニロックV.O-II 調色品 [3分艶]	15kg, 3kg
075-9050	ユニロックV.O-II 調色品 [5分艶]	15kg, 3kg

※●各種ホワイトの調色の際にはユニロックV.O-IIの原色または、ロックオンカララント7000(ベースの7%以内)を使用してください。



# ビニロックV.O-IIシーラー

〔室内環境対応型合成樹脂エマルジョンシーラー〕 F☆☆☆☆

033-1701ビニロックV.O-IIシーラーは、低VOC、低臭タイプのシーラーです。室内環境にやさしく、特に公共施設の新設塗装、塗り替え用シーラーとして適しています。



## ● 製品要綱 ●

品番・色・容量	033-1701 ホワイト 15kg	標準塗装回数	1
標準塗付量 (kg / m <sup>2</sup> ・回)	0.06~0.08	指触乾燥時間 (23℃)	約30分
標準塗布面積 (m <sup>2</sup> / 15kg・回)	180~250	塗り重ね可能時間 (23℃)	2時間以上
希釈割合(重量%)	ハケ・ローラー 水 0~10		

※標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。また乾燥時間は、室内の気温、湿度および換気によって変わります。

## ● 適応素地 ●

- コンクリート、モルタル、せっこうボードなど
- ビニルクロス、旧塗膜上のシミ・ヤニ止め

## ● 性能 ●

項目	品質	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りに支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
乾燥時間(表面乾燥)	2時間以内	合格
低温造膜性	5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性	水に96時間浸したとき異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に48時間浸したとき異常があってはならない。	合格



# 水性サビ止メペイントV.O

〔室内環境対応型水系さび止めペイント〕 F☆☆☆☆

水性サビ止メペイントV.Oは、低VOC、低臭でさらに鉛・クロムなど有害な重金属を配合していないサビ止メペイントで、室内および準外部の鉄部に対して、環境にやさしいオール水系、低VOC塗装を可能にします。



鉛・クロム※など原料として配合せず

## ● 品番・色・容量 ●

※六価クロムが該当します。

075-4530 水性サビ止メペイントV.O 赤サビ色	16kg	075-4531 水性サビ止メペイントV.O グレー	16kg
--------------------------------	------	-------------------------------	------

## ● 製品要綱 ●

※色票は印刷ですから実際の色とは多少異なります。

標準塗付量 (kg / m <sup>2</sup> ・回)	0.11~0.13	標準塗装回数	1
標準塗布面積 (m <sup>2</sup> / 16kg・回)	123~145	指触乾燥時間 (23℃)	約20分
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー 水 5~10	塗り重ね可能時間 (23℃)	2時間以上

※標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。また乾燥時間は、室内の気温、湿度および換気によって変わります。

## ● 適応素地 ●

屋内やバルコニー、手すりなど準外部の鉄部下塗り用 (新設および塗り替え)

## ● 適応上塗り ●

ユニロックV.O-II各種光沢

## ● 性能 ●

〈日本建築学会材料規格JASS 18 M-111に基づいた性能テスト結果〉

項目	内容	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
低温安定性 (-5℃)	変質しないものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない。	合格
乾燥時間	8時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
塗膜中の鉛 (%)	0.06以下	合格
塗膜中のクロム (%)	0.03以下	合格
耐複合サイクル防食性	36サイクルの試験に耐えるものとする。	合格
フラッシュラストテスト*	異常があってはならない。	合格
低温造膜性*	5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	合格
付着安定性*	はがれを認めないものとする。	合格
耐塩水性*	塩化ナトリウム溶液に96時間浸したとき異常がないものとする。	合格
防せい (錆) 性*	3カ月の試験で、外観に著しい異常がなく、塗膜をはがしたとき、さびの程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格

※社内規格

## ◆施工上の要点・注意事項

- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分の希釈をやや少なめに塗装してください。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 調色にはロックトーンカララント7000(ベースの7%以内)を使用してください。
- 色相などにより、水滴などがかかると濡れ色になることがあります。乾燥すると元に戻ります。
- ヤニ、シミが著しく、水拭きなどでも落ちない場合にはロックカチオンシーラーマルチ ホワイトを下塗りに使用してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- 繊維質の壁や耐火被覆されているような表面が脆弱した被塗物には塗装できません。
- 乾燥後、頻繁に手などが触れる扉や手すりなどでは、塗膜表面がしだいに軟化するおそれがあります。状況により手などが触れにくくするようプレートなどを設置してください。
- 室内で水のかかる箇所に合成樹脂エマルジョンパテを使用しないでください。セメントフィラーをお奨めしますが、エフロレッセンスが発生する場合がありますので、養生期間は十分に取ってください。
- せっこうボードなどに軽度の素穴や段差、びび割れがある場合は、合成樹脂エマルジョンパテで処理してください。
- ビニルクロスにめくれ、はがれ、浮きなどがある場合、接着剤で貼り、類似したクロスで面あわせするなどあらかじめ補修してください。
- 紙や布クロス、汚染防止タイプのクロスには塗装できません。
- 内部の塗り替えて旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化の度合いによっては付着不良を起こす場合がありますので、試し塗りをすることをお奨めします。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生原因となります。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 水のかかる場所は塗装後換気を良くし、24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。(常時水のかかる場所には塗装できません。)
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、弱溶剤型のシーラーを使用してください。
- 改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをしたうえで本塗装を行ってください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠ぺい性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗料は5℃以上40℃以下の温度で保管してください。
- 低VOC塗料のため、0℃以下で貯蔵しますと凍ります。凍った場合は常温で安全に溶かし、よく攪拌してから使用してください。塗料が凍ったままで攪拌や塗装することは避けてください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカatalogをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

## ◇安全衛生上および取扱上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気を良くしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

### 【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。

# ロックペイント株式会社

東京営業部	〒136-0076	東京都江東区南砂2丁目37番2号	TEL (03)3640-6000	FAX (03)3640-9000
大阪営業部	〒555-0033	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	TEL (06)6473-1650	FAX (06)6473-1000
札幌営業所	〒003-0011	札幌市白石区中央一条4丁目3番48号	TEL (011)812-2761	FAX (011)812-9304
仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201	TEL (022)349-8677	FAX (022)283-3255
西関東営業所	〒252-0131	神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号	TEL (042)700-3111	FAX (042)700-3112
名古屋営業所	〒454-0059	名古屋市中川区福川町1丁目1番地	TEL (052)351-6500	FAX (052)361-7433
岡山営業所	〒701-1134	岡山市北区三和1000番34	TEL (086)294-1201	FAX (086)294-6966
福岡営業所	〒811-0119	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号	TEL (092)962-0661	FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：